

先代旧事本紀せんだいくじほんき概要

略称は『旧事紀』くじきだが、古事記と誤解されやすい (KOJIKI と KUJIKI で、特に外国でそうである) ので『旧事本紀』くじほんぎとも略称される。内容の多くは記紀・古語拾遺の文言を引用している。しかし、記紀・古語拾遺・新撰姓氏録等がない独自の伝承や神名も見られ、また、天地開闢から推古天皇までの物部氏の氏族伝承を伝える。序文は後世に追記された偽物。平安初期成立。全10巻。

古語拾遺こごしゅうい概要

官人であった齋部広成いんべのひろなりが807(大同2)年に編纂。全1巻。朝廷の祭祀をつかさどっていた忌部いんべ (齋部)氏は大化改新後中臣氏に押されて勢いが振るわなかったため、衰運回復を図って天地開闢から天平年間までの祖先の功業を記したもの。